

令和5年度 国分中央高等学校学校だより(5・6月号)

刮目相待～己を磨き、技を極めん～

1 活気を取り戻しつつある学校生活

5月8日から、新型コロナウイルス感染症が5類に移行となり、マスクなしで過ごす生徒が徐々に増えてきています。また、梅雨に入り、制服も冬服から中間服、夏服へと衣替えが進みました。部活動では、地区大会、高校総体県予選・九州大会も始まりました。昨年度までと比較して、学校内外での活動が、コロナ前の状況に戻ってきていると感じたのではないのでしょうか。入学式から約3ヶ月経ち、1年生は思い描いていた高校生活との違いを実感している人もいるかもしれません。あせることなく、環境の変化に徐々に慣れていきましょう。2年生は1年間の経験をもとに、今年変わらず取り組みたいこと、アップデートしていきたいことについてイメージしていることでしょうか。3年生からは進路実現に向けて、1学期の重要性を感じ、前向きに取り組んでいる、という声を聞きます。コロナ緩和の新しい流れの中で、「刮目相待(かつもくそうたい)～己を磨き、技を極めん～」で、これまでの自分を超越するためにも、目標を達成するためにも、自分のよさや課題を見つめながら、自分磨きに取り組みましょう。

2 部活動県大会結果

5月のゴールデンウィーク終了とともに実施された地区大会に引き続き、多くの3年生にとって最後の県大会が行われました。多くの部活動・個人が優秀な成績を収め、九州・全国大会出場を獲得しています。悔いの残らぬように、最後まであきらめることなく、自分を信じて、チームを信じて、感謝の気持ちをもって、そして何よりも楽しんでほしいと思います。

県高等学校ハンドボール競技大会 女子1位(インターハイ出場)、男子3位

県高等学校総合体育大会陸上競技(南九州大会出場権獲得種目)

| | | | | | |
|----------|----|---------|-------------|----|--------|
| 男子1,500M | 1位 | 辻田 鉄人 | 男子走り幅跳び | 2位 | 増田 竜大 |
| 男子100M | 3位 | 東杵比野 涼介 | 男子4×100Mリレー | 3位 | |
| 男子5,000M | 4位 | 辻田 鉄人 | 女子七種競技 | 4位 | 北山 そよか |

県高校ダンス発表会 最優秀賞(全国大会出場)

県高等学校女子柔道競技大会 団体1位(インターハイ出場)

個人優勝 岩元 夢優, 東郷 紅葉, 福山 琴子(インターハイ出場)
個人2位 宮久保 瑠碧, 中屋 穂乃茄, 山崎 柚, 平 愛菜美
個人3位 根本もえな, 丸田 美海, 鳥原 柳沙, 古城 菜津美, 松元 華凜

県女子ジュニア柔道体重別選手権大会

個人優勝 福山 琴子, 松元 華凜
個人2位 岩元 夢優, 東郷 紅葉

県高等学校水泳競技大会(九州大会出場権獲得種目)

| | | | | |
|-----------|----|-------|----|-------|
| 女子200M自由形 | 1位 | 松下 幸生 | 6位 | 安田 愛遥 |
| 女子400M自由形 | 1位 | 松下 幸生 | 4位 | 安田 愛遥 |

NHK杯全国高校放送コンテスト県予選大会(全国大会出場権獲得部門)

| | |
|------------------|------------------|
| ラジオドキュメント部門 最優秀賞 | テレビドキュメント部門 最優秀賞 |
| ラジオドラマ部門 最優秀賞 | テレビドラマ部門 最優秀賞 |
| 朗読部門 優良賞 中久保 宙 | |

県高等学校ビジネス計算競技大会 団体2位

個人総合 2位 中村ひなた(全国大会出場)
3位 重原 理乃
種目別競技 応用計算 3位 重原 理乃
読上算 3位 中村 ひなた

県高等学校簿記競技大会 団体 3位

個人 7位 黒田 舞武(全国大会出場)



放送部は番組4部門全てで最優秀賞を受賞!

3 国体強化指定証授与式

特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」強化指定証授与式が5月16日(火)に県体育館で行われ、本校からは、女子ハンドボール部、柔道部、銃剣道部の3つの部活動と陸上男子走り幅跳びの増田 竜大選手に強化指定証が授与されました。

当日は、本校銃剣道部の花森 寛人主将が、推薦選手を代表してあいさつし、地元大会での活躍に向けた決意を述べました。



4 教育実習

5月22日(月)～6月9日(金)の3週間、二人の本校卒業生が、国語と保健体育で教育実習を行いました。二人とも、スポーツ健康科の卒業生で、高校時代、そして大学においても、柔道とハンドボールで活躍しており、実習期間中、大学での経験を生かして後輩たちの指導にあたってくれました。二人の実習生からのメッセージを紹介します。

【中馬梨歩先生(国語 龍谷大学)】

今も昔もしっかり挨拶をし、元気で明るいところは変わっていないと思いました。初心に戻った気がして、改めて先輩として気が引き締まりました。

慣れない環境でとても緊張しますが、生徒の方々がたくさん話しかけてくれるので、楽しい日々を過ごしています。まだまだ未熟で至らない部分が多くありますが、沢山話して沢山みんなの事を知れる実習にしたいです。最後の一日まで頑張りたいと思います。



左：中馬先生 右：赤塚先生



【赤塚未空先生(保健体育 福岡大学)】

礼儀正しくて、積極的にコミュニケーションを取ってくれる生徒が多く、高校生の時と比べて全体的に明るく良い方向に変化していると感じました。

最初は生徒の前で話すことは緊張や不安でいっぱいでした。何回か繰り返し話すことで少しずつ慣れることができ、生徒との距離も縮まったように感じます。

国分中央生は元気いっぱい、特に体育の授業ではたくさんお話しをすることができ、とても楽しい教育実習期間でした。「勉強」に「部活動」で忙しく、大変な時期もあると思いますが、3年間という短い高校生活を楽しんでください。

【+one】

本校精華アリーナのWi-fi環境が整備され、早速スポーツ健康科の授業で活用されています。

この日は、1年生のスポーツ概論の授業で、スポーツの多様な関わり方である「する・見る・支える・知る」という視点について、タブレットを用いて調べ学習をしました。

Wi-fi環境とタブレットの整備により、総合的な探究の時間「精華」での課題研究をはじめとして、アリーナで行われるスポーツの授業全般での効果的な活用が期待されます。

